

平成29年度 7月→9月 (vol.2)

アイヌ語 ラジオ講座

講師 山丸賢雄



STV ラジオ

本放送 毎週日曜日 7:00 ~ 7:15 **再放送** 毎週土曜日 23:45~24:00

STV ラジオのホームページでこれまでの放送を聴くことができます。 <http://www.stv.jp/radio/ainugo/>

公益財団法人 アイヌ文化振興・研究推進機構

はじめに

アイヌ語は、アイヌの人たちが話してきた独自の言語です。今でも、私たちが普段アイヌ語を身近に触れているものとして、「地名」があります。アイヌ語が由来とされる地名は、北海道をはじめ、サハリンや千島列島、それに東北地方にも数多く残されています。アイヌ語は地名の他にも、「エトピリカ」「ラッコ」「トナカイ」など、アイヌ語として意識されずに使われている言葉が多くあります。

現在では、アイヌ語の話者は減少し、アイヌ語を日常会話の言語として使われることが、ほとんどなくなってきました。それでも祖先から伝えられてきた言葉を残していこうと、地域においてさまざまな活動が行われています。

この「アイヌ語ラジオ講座」では、初心者向けのやさしいアイヌ語の講座を、ラジオで放送しております。多くの方々がアイヌ語に触れるきっかけとして、また、初級のアイヌ語を学習する機会として、さまざまな講師をお招きして、平成10年より開講しております。

平成29年度は、4月からの1年間にわたって、講師に白老町出身の山丸賢雄さんをお迎えして、アイヌ語の「白老方言」を学んでいきます。

さあ、私たちと一緒に、アイヌ語の世界をのぞいてみませんか。

平成29年4月

「アイヌ語ラジオ講座」テキスト vol.2 目次

テキストは3か月ごとに発行しています。

●講師の紹介	2 P
●講座のスケジュール	3 P
●テキスト14～26	4～29 P
●収録テープ等の貸出について	30 P
●アンケート	31～32 P
●会員募集のお知らせ	33 P

平成29年度 7月→9月 (vol.2)

アイヌ語 ラジオ講座

講師 山丸賢雄



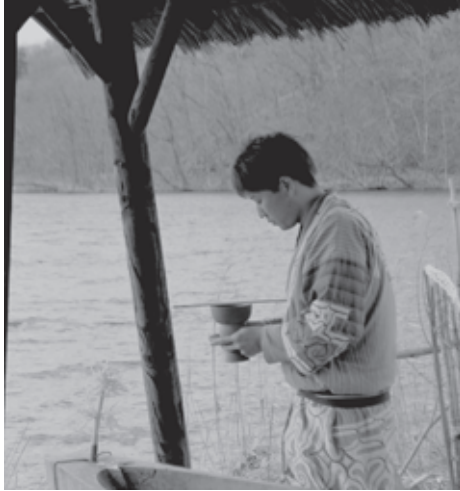
STV ラジオ

本放送 毎週日曜日 7:00 ~ 7:15 **再放送** 毎週土曜日 23:45 ~ 24:00

STV ラジオのホームページでこれまでの放送を聴くことができます。 <http://www.stv.jp/radio/ainugo/>

公益財団法人 アイヌ文化振興・研究推進機構

講師のプロフィール



やままる けんゆう
山丸 賢雄

白老町出身。(一財)アイヌ民族博物館学芸課職員。

2014年4月から2017年3月まで、伝承者育成事業第3期生としてアイヌ民族博物館を拠点にアイヌ文化を総合的に学ぶ。また、アイヌ民族博物館の情報誌「こたんめーる」では、挿絵を担当している。

支援研究者

おかだ みちあき
岡田 路明

苫小牧駒澤大学国際文化学部国際文化学科教授

【このテキストのアイヌ語と表記の仕方について】

現在のところアイヌ語には共通語というものがなく、それぞれの地域でそれぞれの方言が学ばれています。そのため、このテキストでは担当講師の方言（白老方言）をベースにしています。



アイヌ語ラジオ講座のスケジュール

月	日	kanpinuye	テーマ	ページ
7 月	2日	14	数の数え方（1個、2個、3個、・・・）	4
	9日	15	動詞の単数形	6
	16日	16	動詞の複数形	8
	23日	17	疑問の表現1（～ですか？）	10
	30日	18	疑問の表現2（～ですか？）	12
8 月	6日	19	人称接辞1（一人称単数）	14
	13日	20	人称接辞2（二人称単数）	16
	20日	21	人称接辞3（一人称複数1）	18
	27日	22	人称接辞4（一人称複数2）	20
9 月	3日	23	人称接辞5（二人称複数）	22
	10日	24	人称接辞の復習	24
	17日	25	テキスト2の復習	26
	24日	26	アイヌ文化の口承文芸 (カムイユカ「ホテンナオ」)	28

Lesson14 数の数え方(1個、2個、3個、・・・)

【今日の例文】

1. シネフ。 トウフ。 レフ。 イネフ。 アシクネフ。
sine-p. tu-p. re-p. ine-p. asikne-p.
1個 2個 3個 4個 5個

イワンペ。 アヲワンペ。 トウペシ。 シネペシ。 ワンペ。
iwan-pe. arwan-pe. tupes. sinepes. wan-pe.
6個 7個 8個 9個 10個

シネフイカシマワンペ。 トウフイカシマワンペ。
sinep-ikasma-wanpe. tup-ikasma-wanpe.
11個 12個

2. シネセタ。 トウチカッポ。 レエムシ。 イネチセ。 アシクネスマ。
sine-seta. tu-cikappo. re-emus. ine-cise. asikne-suma.
1匹の犬 2羽の小鳥 3振りの刀 4軒の家 5個の石

イワンアミフ。 アヲワンアムシペ。 トウペシマキリ。 シネペシユク。
iwan-amip. arwan-amuspe. tupes-makiri. sinepes-yuk.
6着の着物 7杯のカニ 8本の包丁 9頭のシカ

3. シネン。 トウン。 レン。 イネン。 アシクネン。
sinen. tun. ren. inen. asiknen.
1人 2人 3人 4人 5人

イワニウ。 アヲワニウ。 トウペサニウ。 シネペサニウ。 ワニウ。
iwaniw arwaniw. tupesaniw. sinepesaniw. waniw.
6人 7人 8人 9人 10人

シネンイカシマワニウ。 トウンイカシマワニウ。
sinen-ikasma-waniw. tun-ikasma-waniw.
11人 12人

MEMO

.....

.....

.....

.....

.....





【単語】

アイヌ語		日本語
セタ	seta	犬
チカッポ	cikappo	小鳥
エムシ	emus	刀
チセ	cise	家
スマ	suma	石
アミッ	amip	着物
アムシペ	amuspe	カニ（タラバガニ）
マキリ	makiri	包丁
ユク	yuk	エゾシカ

【今日の解説】

アイヌ語で数を数えるときは、何を数えるかによって数え方が違います。日本語では、名詞の後に数詞と助数詞を付けて数えます。例えば、魚を数えるときは魚1匹、2匹、ヒグマなどの大きめの動物を数えるときはヒグマ1頭、2頭と数えます。アイヌ語では何を数えるかによって、数の後に付く言葉が替わります。ただし、日本語と違ってアイヌ語には助数詞がなく、数詞の後ろに数える物の名前、即ち名詞を付けて数えます。また、数の概念としてのシネ、トゥ、レなどを、それだけで使うことは殆どありません。

例文のシネッ、トゥッ、レッ、イワンペ、アッワンペという数え方は、多くの物の数を数えるときに使われます。概念としての数は、シネ（1）トゥ（2）レ（3）イネ（4）アシクネ（5）イワン（6）アッワン（7）トゥペサン（8）シネペサン（9）ワン（10）などで、シネッとかイワンペなどは、概念としての数の後に、名詞を作る語の「ッ」とか「ペ」を付けたものです。

8個と9個は、本来の形は“トゥペサンペ＝8個”“シネペサンペ＝9個”です。ただし、白老ではこの形で数を数えることは殆どなく、例文のように略した形の“トゥペシ＝8個”“シネペシ＝9個”が使われます。もちろん、本来の形の“トゥペサンペ”“シネペサンペ”を使っても、間違いではありませんし、意味も通じます。

Lesson15 動詞の単数形

【今日の例文】

1. チロンヌ㇗ カム エ。

cironnup kam e.

キツネ 肉 ~を食べる (キツネが肉を食べた。)

2. アチャポ ニタイ オッタ チクニ トウイエ。

acapo nitay otta cikuni tuye.

おじさん 林 ~の中で 木 ~を切る
(おじさんが林の中で木を切った。)

3. チセ オルン サパネクル アシケウ㇗。

cise orun sapanekur askeuk.

家 ~の中へ 上に立つ人 ~を招き入れる (家の中へ偉い人を招き入れた。)

4. アトゥイソ カ タ タンヌ テレケ。

atuyso ka ta tannu terke.

海面 上(を) イルカ 飛ぶ (海面の上をイルカが飛ぶ。)

5. チセ コツチャケ タ シネ セタ アン。

cise kotcake ta sine seta an.

家 ~の前 (に) 1 犬 いる (家の前に1匹の犬がいる。)

6. トアン ヘカチ、チセ ウン ホユプ ワ ホシピ。

toan hekaci, cise un hoyupu wa hosipi.

あの 男の子 家 ~へ 走る て 帰る
(あの男の子は、家へ走って帰った。)

【単語】

アイヌ語		日本語
チロンヌ㇗	cironnup	キタキツネ
カム	kam	肉
エ	e	~を食べる (他)
アチャポ	acapo	おじさん
ニタイ	nitay	林
オッタ	otta	~の中で
チクニ	cikuni	木 (立ち木や薪など)





アイヌ語		日本語
トゥイエ	tuye	～を切る（他、単）
オルン	orun	～の中へ
サパネクル	sapanekur	上に立つ人、偉い人
アシケウク	askeuk	～を招き入れる、～を招待する（他、単）
アトゥイソ	atuyso	海面
カ	ka	～の上
タ	ta	～を・～に・～で（場所を指す語）
タンヌ	tannu	イルカ
テレケ	terke	跳ねる・飛ぶ（自）
コッチャケ	kotcake	～の前
アン	an	いる、ある（自、単）
トアン	toan	あの
ヘカチ	hekaci	男の子
ウン	un	～へ
ホユプ	hoyupu	走る（自、単）
ワ	wa	～して～
ホシピ	hosipi	帰る（自、単）

【今日の解説】

アイヌ語は、日本語と違って動詞の変化がありません。例えば、日本語では動詞に活用形があって、行くは、行かない、行きます、行く、行くとき、行けば、行けなどと複雑に変化し、更には時間を表して、行った、行っているなどという変化もあります。アイヌ語では、それらは全て「オマン」の一語で言い表します。もちろん、その動作がまだ行われていないのか、あるいは既に終わったのかを表す方法はありますが、少なくとも動詞そのものが変化することはありません。ところがアイヌ語の動詞には、その動作を単独でするのか、あるいは複数でするのかによって、形の変わるものがあります。

今回の例文として使った「アチャポ＝おじさん」などの呼称は、自分の親族を指すとは限りません。日本文化と同じように、アイヌ文化でも「おじさん」「おばさん」「姉さん」「兄さん」などの親族呼称は、その人が自分の親族でなくても使われます。かつては一つのコタン（＝村）が家族のような間柄だったので、このような呼び方をします。白老では、今でもこの呼び方が使われます。ある人が「ハポ（＝おかあさん）」と言ったら誰のことを指して言っているのかは、長年の付き合いでわかっているために、会話で使われても不便はありません。

Lesson16 動詞の複数形

【今日の例文】

1. チロンヌ ヌワ カパッチリ カム エ。
 cironnup newa kapatcir kam e.
 キツネ と オオワシ 肉 ～を食べる
 (キツネとオオワシが肉を食べた。)
-
2. アチャポ ニタイ オッタ ポロンノ チクニ トウイパ。
 acapo nitay otta poronno cikuni tuypa.
 おじさん 林 ～の中で たくさん 木 ～を切る
 (おじさんが林の中でたくさんの木を切った。)
-
3. チセ オルン カムイ ウタラ アシケウイナ。
 cise orun kamuy utar askeuyna.
 家 ～の中へ 神 たち ～を招き入れる
 (家の中へ神々を招き入れた。)
-
4. ウナルペ ネワ サポ オハウコッ カラ ワ アッキ。
 unarpe newa sapo ohawkop kar wa arki.
 おばさん と お姉さん 山菜 ～を採る ～して 来る
 (おばさんとお姉さんがたくさんの山菜を採って来た。)
-
5. チセ コッチャケ タ レ セタ オカイ。
 cise kotcake ta re seta okay.
 家 ～の前 (に) 3 犬 いる (家の前に3匹の犬がいる。)
-
6. トアン ヘカッタラ チセ ウン ホユッパ ワ ホシッパ。
 toan hekattar cise un hoyuppa wa hosippa.
 あの 子どもたち 家 ～へ 走る ～して 帰る
 (あの子どもたちは、家へ走って帰った。)

【単語】

アイヌ語		日本語
カパッチリ	kapatcir	オオワシ
ポロンノ	poronno	たくさん
トウイパ	tuypa	～を切る (他、複)
カムイ	kamuy	神
ウタラ	utar	たち (仲間、～たち)





アイヌ語		日本語
アシケウイナ	askeuyna	～を招き入れる、～を招待する（他、複）
ウナルペ	unarpe	おばさん
ネワ	newa	～と～
サポ	sapo	姉
オハウコッ	ohawkop	山菜
カラ	kar	～を採る（他）
アッキ	arki	来る（自、複）
オカイ	okay	いる、ある（自、複）
ヘカッタ	hekattar	子どもたち
ホユッパ	hoyuppa	走る（自、複）
ホシッパ	hosippa	帰る（自、複）

【今日の解説】

前回と併せて、動詞の単複についてです。アイヌ語の動詞には、単複の違いがある単語が存在します。ただし、単複の違いがある動詞は少なく、多くの動詞には単複の違いがありません。例文の「エ＝～を食べる」や「カラ＝～を採る」なども、単複の違いはなく、単独でその動作をしても、複数でも同じ単語が使われます。

また、動詞の単複には、その動作を単独でも、動作を何回もするという意味の複数形も存在します。例文の「トゥイパ」も、その例です。一人の人が切っても、切るという動作を何回もすると、複数形の単語が使われます。動詞の単複には、定まった法則がなく、全ての動詞に単複があるわけでもないので、覚えるのは大変です。正確な動詞の単複を知るには、辞典などの利用をお勧めします。

言語は、その言語を使う人々の文化によって生まれ、育まれています。即ち、言語と文化を切り離すことはできません。例えば、今日の例文で使った「アシケウイナ＝招き入れる」の本来の意味は「アシケ＝指、ウイナ＝～を受け取る＝指を受け取る」という意味です。ではなぜ「指を受け取る」で「招き入れる」という意味になるのでしょうか。それは、アイヌ文化では、目上の人や儀式に参加する人などが自分の家へ訪ねて来たら、その家の婦人が入口の外まで出迎えに出て、そのお客の右手の親指を除く4本の指を両手で挟み、家の中へと招き入れるからです。その動作から、「指を受け取る」という表現で「招き入れる」という意味を表すのです。



【単語】

アイヌ語		日本語
ケラアン	keraan	美味しい
ソンノ	sonno	本当に
トアン	toan	その
トペンペ	topenpe	お菓子
ヤ	ya	～か
ルスイ	rusuy	～したい
ヌマン	numan	昨日
ヌプルペッコタン	nupurpetkotan	登別
オマン	oman	行く（自、単）
トゥラ	tura	～と一緒に、～を伴って
トカパイペ	tokapipe	お昼ご飯
イペ	ipe	食事（自）

【今日の解説】

何かを尋ねるときの表現は、いくつかあります。もっとも簡単なのは、例文1のように語尾を上げて発音する方法です。日本語で「美味しい？」「食べる？」などと、語尾を上げて発音するのと同じ表現です。ただし、その表現方法だけで人にもものを尋ねることはできません。一般的な会話では、「そのお菓子は美味しいですか」とか、「これを食べますか」など、単に語尾を上げるだけで尋ねることのできない内容がたくさんあります。そのようなときは、尋ねる内容の語の後ろに「ヤ」を付けて表現します。「ヤ」は「ケラアン ヤ。（＝美味しいですか）」のように、動作の確認をするときなどに使われます。

「ヤ」を付けて表現するときは、必ずしも語尾を上げて発音しなければならないものではありません。「ヤ」が付いているということは、尋ねているということです。語尾を上げずに発音しても、意味は通じます。「ケラアン ヤ。」と聞かれたら、「ソンノ ケラアン。（＝とても美味しいですよ）」などと答えます。美味しいと思わなければ「ソモ。（＝いいえ）」と答えますが、この答え方は、あまり使わない方が良いでしょう。

Lesson18 疑問の表現2 (～ですか?)

【今日の例文】

1. スケ エアシカイ ルウエ。
 suke easkay ruwe.
 炊事をする ～ができる ～か (料理はできますか。)
-
2. スケ カ エアイカッ ルウエ。
 suke ka eaykap ruwe.
 炊事をする ～も ～ができない ～か (料理もできないのですか。)
-
3. ムンヌウエ ヤッカ ピリカ ルウエ。
 munnuwe yakka pirka ruwe.
 掃除をする ～しても 良い ～か (掃除をしても良いですか。)
-
4. タン フレ ヌム ニカオマッ ヘ。
 tan hure num nikaomap he.
 この 赤い 実 果物 ～か (この赤い実は果物ですか。)
-
5. タン カム、カムイ カム ヘ。 ユク カム ヘ。
 tan kam, kamuy kam he. yuk kam he.
 この 肉 クマ 肉 ～か シカ 肉 ～か
 (この肉は、ヒグマの肉ですか。エゾシカの肉ですか。)
-
6. タンペ ヘ。 トアンペ ヘ。 イナンペ コン ルスイ ヤ。
 tanpe he. toanpe he inanpe kor rusuy ya.
 これ ～か あれ ～か どれ ～を持つ ～したい ～か
 (これかい。あれかい。どれが欲しいの。)

【単語】

アイヌ語		日本語
スケ	suke	炊事をする (自)
エアシカイ	easkay	～ができる、～が上手 (他)
ルウエ	ruwe	～か
カ	ka	～も
エアイカッ	eaykap	～ができない、～が下手 (他)
ムンヌウエ	munnuwe	掃除をする (自)
ヤッカ	yakka	～しても、～であっても



アイヌ語		日本語
ピリカ	pirka	良い
タン	tan	この
フレ	hure	赤い
ヌム	num	実、粒
ニカオマッ	nikaomap	果物
ヘ	he	～か
カムイ	kamuy	神（ヒグマ）
タンペ	tanpe	これ
トアンペ	toanpe	あれ、それ
イナンペ	inanpe	どれ
コロ	kor	～を持つ（他）

【今日の解説】

前回の「ヤ」を付けて聞く方法は、そのことが行われる（行われた）かどうかなどを尋ねるときの表現として、一般的に使われます。今回の「ルウェ」も、同じような内容で尋ねるときに使われますが、「ルウェ」は聞く内容をやや強調して聞くときに使われます。例文のように、「できる」「できない」を尋ねる場合や、「良い」「悪い」を尋ねるときなどに使われます。ただし白老では、「ヤ」を付けて尋ねる表現の方が一般的に使われる機会が多いようです。

「ヘ」も白老では一般的に使われます。「ヤ」や「ルウェ」が動作を尋ねるのに対し、「ヘ」は物が何なのかを尋ねるときなどに使われます。例えば、雨が降っているのかと尋ねるときは「アット アシ ヤ。」と聞き、降っているのは雨かと尋ねるときは「アット ヘ」と聞きます。

「コロ」は「～を持つ」という意味の語です。それに「～したい」という意味の「ルスイ」が付いて「コロ ルスイ。（＝～を持ちたい＝～が欲しい）」という意味になります。なお、発音は「コン ルスイ」となります。

MEMO

Lesson19 人称接辞 1 (一人称単数)

【今日の例文】

1. クモコロ。

ku=mokor.

眠る (眠ります。)

2. ワッカ クク。

wakka ku=ku.

水 ~を飲む (水を飲みます。)

3. ケラアン トペンペ クエ ルスイ。

keraan topenpe ku=e rusuy.

美味しい お菓子 ~を食べる ~したい (美味しいお菓子を食べたい。)

4. アチャポ トウラ オタル ウン クオマン。

acapo tura otaru un ku=oman.

おじさん ~と一緒に 小樽 ~へ 行く

(おじさんと一緒に小樽へ行きます。)

5. オハウコフ クフナラ ワ キム ペカ クアツカシ。

ohawkop ku=hunara wa kim peke ku=apkas.

山菜 ~を探す ~して 山 (を) 歩く

(山菜を探して山を歩きます。)

6. ヌマン、サッポロ ワ クホシピ。

numan, sapporo wa ku=hosipi.

昨日 札幌 ~から 帰る (昨日、札幌から帰りました。)

【単語】

アイヌ語		日本語
ク	ku=	人称接辞 (一人称単数)
モコロ	mokor	眠る (自)
ワッカ	wakka	水
ク	ku	~を飲む (他)
フナラ	hunara	~を探す (他)
キム	kim	山 (場所としての山)
ペカ	peka	~を (広がりのある場所を)



アイヌ語		日本語
アツカシ	apkas	歩く（自）
ワ	wa	～から

【今日の解説】

アイヌ語には、人称接辞があります。人称接辞は日本語にありませんので、これを理解するのは少し難しいかもしれません。人称接辞は、動詞に付いてその動作を誰がするのか、或いは誰にするのかを表すものです。また、名詞の所属形に付いて、それが誰のものかを表すときにも使われますが、その内容については後の回で説明します。この回では、動詞に付いてその動作を誰がするのかを表す主格人称接辞に付いて説明します。

今年度の「アイヌ語ラジオ講座」のテキストでは、今まで例文の中に「私」とか「あなた」が出てきていません。唯一「Lesson10」で「クアニ＝私」が使われているだけです。今までの例文では、動作をする主体が動物であったり、おじさんやおばさんであったりと、「私」や「あなた」以外の何か、或いは誰かでした。ではなぜ「私」や「あなた」が使えなかったのかというと、アイヌ語では動作をする主体が「私」や「あなた」である場合、その動作を表す語、即ち動詞に人称接辞を付けて表現しなければならないからです。今回からはその人称接辞を説明しますので、今後の例文には「私」や「あなた」が主体となる例文が出てきます。なお、「クアニ」は人称代名詞で、人称接辞ではありません。人称接辞は、その動作を誰がするのか、誰にするのかを表すだけで、日本語の人称代名詞「私」や「あなた」とは違い、「私」とか「あなた」と訳すことはできません。例えば「クモコロ」という表現は、「モコロ＝眠る」という動詞に、「眠る」という動作をするのは誰かを表す人称接辞の「ク」が付いて「クモコロ」という表現になっています。この場合も、日本語の訳は「眠る」であって、「私が眠る」ではありません。

MEMO

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



Lesson20 人称接辞2 (二人称単数)

【今日の例文】

1. エモコロ。

e=mokor.

眠る (眠ります。)

2. ワッカ エク。

wakka e=ku.

水 ~を飲む (水を飲みます。)

3. ケラアン トペンペ エエ ルスイ ヤ。

keraan topennpe e=e rusuy ya.

美味しい お菓子 ~を食べる ~したい ~か
(美味しいお菓子を食べたいですか。)

4. ウナルペ トウラ トウキョウ ウン エオマン ヤ。

unarpe tura tokyo un e=oman ya.

おばさん ~と一緒に 東京 ~へ 行く ~か
(おばさんと一緒に東京へ行きますか。)

5. オハウコッ エフナラ ワ キム ペカ エアッカシ ヤ。

ohawkop e=hunara wa kim peka e=apkas ya.

山菜 ~を探す ~して 山 (を) 歩く ~か
(山菜を探して山を歩いたのですか。)

6. ヌマン、サッポロ ワ エホシピ ヤ。

numan, sapporo wa e=hosipi ya.

昨日 札幌 ~から 帰る ~か
(昨日、札幌から帰りましたか。)

【単語】

アイヌ語		日本語
エ	e=	人称接辞 (二人称単数)

Lesson21 人称接辞3 (一人称複数1)

【今日の例文】

1. クホユプ。

ku=hoyupu.

走る (走る。) ⇒走るのは私。

ホユッパアン。

hoyuppa=an.

走る (走る。) ⇒走るのは私たち。

2. ポロンノ クモコロ。

poronno ku=mokor.

たくさん 眠る (たくさん眠った。) ⇒眠ったのは私。

ポロンノ モコロアン。

poronno mokor=an.

たくさん 眠る (たくさん眠った。) ⇒眠ったのは私たち。

3. ワッカ クク ルスイ。

wakka ku=ku rusuy.

水 飲む ~したい (水を飲みたい。) ⇒水を飲むのは私。

ワッカ アク ロ。

wakka a=ku ro.

水 飲む ~しましょう (水を飲みましょう。) ⇒水を飲むのは私たち。

4. チライ クペライカヲ クス ペツ サムタ クオマン。

ciray ku=peraykar kusu pet samta ku=oman.

イトウ ~を釣る ~するために 川 ~の傍に 行く

(イトウを釣りに川へ行きます。) ⇒釣りに行くのは私。

チライ アペライカヲ クス ペツ サムタ パイエアン ロ。

ciray a=peraykar kusu pet samta paye=an ro.

イトウ ~を釣る ~するために 川 ~の傍に 行く ~しましょう

(イトウを釣りに川へ行きましょう。) ⇒釣りに行くのは私たち。

【単語】

アイヌ語		日本語
アン	=an	人称接辞(一人称複数。話し相手を含む。)



アイヌ語		日本語
ア	a=	人称接辞(一人称複数。話し相手を含む。)
ロ	ro	～しましょう
チライ	ciray	イトウ
ペライカラ	peraykar	～を釣る (他)
クス	kusu	～するために、～するので
ペツ	pet	川
サムタ	samta	～の傍に
パイエ	paye	行く (自、複)

【今日の解説】

今回は、その動作をするのは複数、即ち「私たち」がその動作をするときの表現です。人称接辞は「アン」と「ア」を使います。アイヌ語の人称接辞は複雑ですが、その中でも一人称複数の使い分けはとても複雑です。まず、話し相手を含んでの「私たち」なのか、話し相手を含まない「私たち」なのかで使われる人称接辞が違います。更に、人称接辞の付く動詞が自動詞なのか他動詞なのかによって、使われる人称接辞が違うばかりか、人称接辞の付く位置も違います。

今回は、一人称複数の人称接辞で、話し相手を含む場合を説明します。よって、使われる人称接辞は「アン」と「ア」です。「アン」は話し相手を含み、しかも動詞が自動詞の場合です。付く位置は動詞の後ろ、即ち接尾辞として使われます。「ア」は話し相手を含み、動詞が他動詞の場合の人称接辞です。付く位置は動詞の前、即ち接頭辞として使われます。

また、人称接辞の複数形「アン」「アシ」「ア」「チ」「エチ」が使われるときは、これらの人称接辞が付く動詞も、単複の違いがある場合は、一般的に複数形を使います。

動詞の自動詞と他動詞の見分け方は、日本語を母語として話す人には少し難しいと思います。日本語にも自動詞と他動詞はありますが、それが自動詞なのか他動詞なのかを意識しながら使うことがないので、その違いを見分けるのが難しいのです。アイヌ語では、動詞が自動詞なのか他動詞なのかによって人称接辞の使い分けをしますので、それを見分ける必要があります。



Lesson22 人称接辞4 (一人称複数2)

【今日の例文】

1. クホユブ。

ku=hoyupu.

走る (走る。) ⇒走るのは私。

ホユッパアシ。

hoyuppa=as.

走る (走る。) ⇒走るのは私たち。

2. ポロンノ クモコロ。

poronno ku=mokor.

たくさん 眠る (たくさん眠った。) ⇒眠ったのは私。

ポロンノ モコロアシ。

poronno mokor=as.

たくさん 眠る (たくさん眠った。) ⇒眠ったのは私たち。

3. ワッカ クク ルスイ。

wakka ku=ku rusuy.

水 飲む ~したい (水を飲みたい。) ⇒水を飲むのは私。

ワッカ チク ルスイ。

wakka ci=ku rusuy.

水 飲む ~したい (水を飲みたい。) ⇒水を飲むのは私たち。

4. チライ クペライカラ クス ペッ サムタ クオマン。

ciray ku=peraykar kusu pet samta ku=oman.

イトウ ~を釣る ~するために 川 ~の傍に 行く

(イトウを釣りに川へ行きます。) ⇒釣りに行くのは私。

チライ チペライカラ クス ペッ サムタ パイエアシ。

ciray ci=peraykar kusu pet samta paye=as.

イトウ ~を釣る ~するために 川 ~の傍に 行く

(イトウを釣りに川へ行きます。) ⇒釣りに行くのは私たち。



【単語】

アイヌ語		日本語
チ	ci=	人称接辞(一人称複数。話し相手を含まない。)
アシ	=as	人称接辞(一人称複数。話し相手を含まない。)

【今日の解説】

今回も、その動作をするのは複数、即ち私たちがその動作をするときの表現です。人称接辞は「アシ」と「チ」を使います。今回は、話し相手を含まない場合を説明します。よって、使われる人称接辞は「アシ」と「チ」です。「アシ」は話し相手を含まず、しかも動詞が自動詞の場合に使われます。付く位置は動詞の後ろ、即ち接尾辞として使われます。「チ」は話し相手を含まず、動詞が他動詞の場合に使われます。付く位置は動詞の前、即ち接頭辞として使われます。

このように、前回と併せてその使い方を見ても、人称接辞の一人称複数は少し複雑です。今回は、話し相手を含む、或いは含まないの意味について説明します。

話し相手を含むというのは、例えば日本語でAさんがBさんに「ケーキを食べましょう。」と話しかけた場合の表現です。「ケーキを食べましょう。」と誘っているのですから、「食べる」という動作は話しかけた相手のBさんもすることになります。

それに対し、話し相手を含まないというのは、例えばAさんとCさんがいて、その内のAさんがBさんに対して「私たちケーキ食べるんだ。」と話しかけた場合の表現です。この場合は、「食べる」という動作はAさんとCさんがするのであって、話しかけた相手のBさんはケーキを食べるという動作はしないことになります。アイヌ語の人称接辞は、その使い分けをしますので、覚えるのが難しいのです。

MEMO

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



Lesson23 人称接辞5 (二人称複数)

【今日の例文】

1. エホユフ。

e=hoyupu.

走る (走る。) ⇒走るのはあなた。

エチホユッパ。

eci=hoyuppa.

走る (走る。) ⇒走るのはあなたたち。

2. ポロンノ エモココ。

poronno e=mokor.

たくさん 眠る (たくさん眠った。) ⇒眠ったのはあなた。

ポロンノ エチモココ。

poronno eci=mokor.

たくさん 眠る (たくさん眠った。) ⇒眠ったのはあなたたち。

3. ワッカ エク ルスイ ヤ。

wakka e=ku rusuy ya.

水 ~を飲む ~したい ~か

(水を飲みたいですか。) ⇒水を飲むのはあなた。

ワッカ エチク ルスイ ヤ。

wakka eci=ku rusuy ya.

水 ~を飲む ~したい ~か

(水を飲みたいですか。) ⇒水を飲むのはあなたたち。

4. チライ エペライカヲ クス ペツ サムタ エオマン ヤ。

ciray e=peraykar kusu pet samta e=oman ya.

イトウ ~を釣る ~するために 川 ~の傍に 行く ~か

(イトウを釣りに川へ行きますか。) ⇒釣りに行くのはあなた。

チライ エチペライカヲ クス ペツ サムタ エチパイェ ヤ。

ciray eci=peraykar kusu pet samta eci=paye ya.

イトウ ~を釣る ~するために 川 ~の傍に 行く ~か

(イトウを釣りに川へ行きますか。) ⇒釣りに行くのはあなたたち。



Lesson24 人称接辞の復習

【今日の例文】

人称接辞の使われ方

1. チエッ エ。
 ciep e.
 *魚を食べる。 ⇒誰かが食べる。

2. チエッ チエ。
 ciep ci=e.
 *魚を食べる。 ⇒食べるのは私たち。

3. エアニ カ チエッ エエ ヤ。
 eani ka ciep e=e ya.
 *あなたも魚を食べますか。 ⇒食べるのはあなた。

4. エー。 チエッ クエ。
 e. ciep ku=e.
 *はい。魚を食べます。 ⇒食べるのは私。

5. ヤクン、チエッ アエ ロ。
 yakun, ciep a=e ro.
 *では、魚を食べましょう。 ⇒食べるのは私たち。

6. イペアン ロ。
 ipe=an ro.
 *食べましょう。(食事にしましょう。)
 ⇒食べるのは私たち。

7. イペアン ワ アオケレパ。
 ipe=an wa a=okerpa.
 *食べ終わりました。 ⇒食べ終わったのは私たち。

8. ポンノ シニアシ。
 ponno sini=as.
 *少し休みます。 ⇒休むのは私たち。

9. エアニ カ エシニ ヤ。
 eani ka e=sini ya.
 *あなたも休みますか。 ⇒休むのはあなた。

10. エー。 クアニ カ クシニ ルスイ。
 e. kuani ka ku=sini rusuy.
 *はい。私も休みたいです。 ⇒休むのは私。

11. ヘタク シニアン ロ。
 hetak sini=an ro.
 *早く休みましょう。 ⇒休むのは私たち。





【単語】

アイヌ語		日本語
チエッ	ciep	魚（鮭や鱒以外の魚。鮭や鱒はチエッ。）
エアニ	eani	あなた（人称代名詞二人称単数）
ヤクン	yakun	～ならば、～であったら
オケレパ	okerpa	～を終える（他、複）
ポンノ	ponno	少し
シニ	sini	休む（自）
ヘタッ	hetak	早く
イペ	ipe	食べる、食事（自）

【今日の解説】

人称接辞は、アイヌ語には必要不可欠な存在です。しかも、人が会話を交わすときには、動作が話題になることが多いものです。例えば、「お昼ご飯は食べたかい。」とか、「旅行でもしたいね。」など、動作が話題の中心になることも少なくありません。日本語だと、その動作をするのは誰なのかを全く言わなかったとしても、意味が通じます。「お昼ご飯は食べたかい。」と話しかければ、「食べる」という動作をするのは「あなた」に決まっています。そのため、「あなたはお昼ご飯を食べましたか。」と表現しなくても、何の問題もありません。ところが、アイヌ語ではその動作をするのが「私」や「私たち」、「あなた」や「あなたたち」の場合は必ず人称接辞が必要です。そのため、アイヌ語を話すのは難しいのです。ただし、人称接辞を覚えてしまえば、アイヌ語は日本語の語順と似ていますので、覚えるのはそれ程難しくはありません。

MEMO

.....
.....
.....
.....
.....
.....



Lesson25 テキスト2の復習

【今日の例文】

1. チセ コッチャケ タ シネ セタ アン。

cise kotcake ta sine seta an.

家 ~の前 (に) 1 犬 いる (家の前に1匹の犬がいる。)

2. チセ コッチャケ タ レ セタ オカイ。

cise kotcake ta re seta okay.

家 ~の前 (に) 3 犬 いる (家の前に3匹の犬がいる。)

3. トアン ヘカチ、チセ ウン ホユブ ワ ホシピ。

toan hekaci, cise un hoyupu wa hosipi.

あの 男の子 家 へ 走る て 帰る

(あの男の子は、家へ走って帰った。)

4. トアン ヘカッタ ヌ チセ ウン ホユッパ ワ ホシッパ。

toan hekattar cise un hoyuppa wa hosippa.

あの 子どもたち 家 ~へ 走る ~して 帰る

(あの子どもたちは、家へ走って帰った。)

5. ヌマン、ヌプルペッコタン ウン オマン ヤ。

numan, nupurpetkotan un oman ya.

昨日 登別 へ 行く ~か (昨日、登別へ行きましたか。)

6. スケ エアッカイ ルウェ。

suke easkay ruwe.

炊事をする ~ができる ~か (料理はできますか。)

7. タン フレ ヌム ニカオマ ヌ ヘ。

tan hure num nikaomap he.

この 赤い 実 果物 ~か (この赤い実は果物ですか。)

8. アチャポ トウラ オタル ウン クオマン。

acapo tura otaru un ku=oman.

おじさん ~と一緒に 小樽 ~へ 行く

(おじさんと一緒に小樽へ行きます。)

9. ウナルペ トウラ トウキョウ ウン エオマン ヤ。

unarpe tura tokyo un e=oman ya.

おばさん ~と一緒に 東京 ~へ 行く ~か

(おばさんと一緒に東京へ行きますか。)



Lesson26 アイヌ文化の口承文芸(カムイユカヲ「ホテンナオ」)

【今日の例文】

伝承者名 故森竹竹市翁 訳 伝承者育成事業3期生他
(「V」=ホテンナオ 「W」=ピートウトウン ピートウトウン)

V	ランマ カネ	ranma kane	いつも通り
V	カッコロ カネ	katkor kane	変わりなく
V	オカヤシ アワ	okay=as awa	暮らしていたところ
V	シネ アン ト タ	sine an to ta	ある日
V	カムイ メノコ	kamuy menoko	神の女
V	カムイ モイレ マツ	kamuy moyre mat	神の聖女が
V	エネ イタキ	ene itak hi	このように言った
V			
W	「ソンノ シノ	“sonno sino	「本当に
W	エヌプル チキ	e=nupur ciki	お前に霊力があるならば
W	タパン ペツポ	tapan petpo	この川の
W	テエタ レヘ	teeta rehe	昔の名前
W	タネ アン レヘ	tane an rehe	今の名前を
W	ウカエピタ	ukaepita	解き明かして
W	エキ クシ ネ ナ。」	e=ki kus ne na.”	「ごらんなさい。」
W	ハウエアン クス	hawean kusu	と言ったので
V	「ネンナモラ	“nennamora	「いったい誰が
V	タパン ペツポ	tapan petpo	この川の
V	テエタ レヘ	teeta rehe	昔の名前
V	タネ アン レヘ	tane an rehe	今の名前
V	エランペテカ	eramptek a	わからないものか
V	テエタ アナク	teeta anak	昔は
V	シリ ヌプル クス	sir nupur kusu	大地の霊力があつたので
V	タパン ペツポ	tapan petpo	この川が
V	アレコロ カトゥ	a=rekor katu	名を持つ様子は
V	カンチウ エロシキ	kanciw eroski	『逆巻く流れ』
V	カンチウ エサン ペツ	kanciw esan pet	『流れ下る川』
V	アリ アイエ コロカ	ari a=ye korka	と言うけれど
V	タネ アナクネ	tane anakne	今は
V	シリ パン クス	sir pan kusu	大地の霊力が弱まったので
V	エヤットウイコンノ	eyattuykonno	ただ只管に
V	カンチウ エサン ペツ	kanciw esan pet	『流れ下る川』
V	アリ アイエ ナ。」	ari a=ye na.”	と言うよ。」
V	ハウエアシ アワ	haweas awa	と言ったところ
V			
W	「ソンノ シノ	“sonno sino	「本当に
W	エヌプル チキ	e=nupur ciki	お前に霊力があるならば
W	タパン ノットウ	tapan nottu	この岬の
W	テエタ レヘ	teeta rehe	昔の名前
W	タネ アン レヘ	tane an rehe	今の名前を
W	ウカエピタ	ukaepita	解き明かして
W	エキ クシ ネ ナ。」	e=ki kus ne na.”	「ごらんなさい。」
W	ハウエアン クス	hawean kusu	と言ったので
V	「ネンナモラ	“nennamora	「誰が
V	タパン ノットウ	tapan nottu	この岬の
V	テエタ レヘ	teeta rehe	昔の名
V	タネ アン レヘ	tane an rehe	今の名を
V	エランペテカ	eramptek a	わからないものか





V	テエタ アナク	teeta anak	昔は
V	シリ ヌプル クス	sir nupur kusu	大地の霊力があるので
V	タパン ノットウ	tapan nottu	この岬を
V	アポロセ カトウ	a=porse katu	人々が呼ぶ様子は
V	カムイ エサン ノツ	kamuy esan not	『神々が下りる岬』
V	イナウ エサン ノツ	inaw esan not	『御幣が下りる岬』
V	アリ アイエ コロカ	ari a=ye korka	と書いていたけれど
V	タネ アナクネ	tane anakne	今は
V	シリ パン クス	sir pan kusu	霊力が弱まったので
V	エヤットウイ コンノ	eyattuy konno	ただ只管に
V	イナウ エサン ノツ	inaw esan not	『御幣が下りる岬』
V	アリ アイエ ナ。」	ari a=ye na.”	と言うよ。」
V	イタカシ アワ	itak=as awa	と言ったところ
V			
W	「ソンノ シノ	“sonno sino	「本当に
W	エヌプル チキ	e=nupur ciki	お前に霊力があるならば
W	ウシンリッピタ	usinritpita	互いの正体を言い当て
W	アキ クシ ネ ナ。」	a=ki kus ne na.”	ましよう。」
W	ハウエアン クス	hawean kusu	と言ったので
V	「ネンナモラ	“nennamora	「いっただれが
V	エシンリッ モト	e=sinrit moto	お前の正体のもとは
V	エランペテカ	erampetek a	わからないものか
V	テエタ カネ	teeta kane	昔むかし
V	モシッカラムイ	mosirkarkamuy	国造りの神が
V	モシッカウシ タ	mosirkar us ta	国造りをした時に
V	ケネ イヌンペ	kene inunpe	ハンノキで炬縁
V	テケカラ コロカ	tekekar korka	を作ったけれど
V	ウ ネ イヌンペ	u ne inunpe	その炬縁が
V	テセシケ ウシ	teseske usi	反ったとき
V	イルシカ クス	iruska kusu	腹を立てたので
V	テッサイカレ	teksaykare	炬縁をさっとつかんで
V	ウ トウイマノ	u tuymano	遠くへ
V	エヤキキナ	eyapkir ki na	投げたのだよ
V	パセ カムイ	pase kamuy	尊い神
V	テケカラ イヌンペ	tekekar inunpe	作った炬縁が
V	トイコムニン	toyko munin	土と共に腐り
V	シリコムニン	sirko munin	すっかり朽ち果ててしまう
V	エヤイヌヌケクス	eyaynunuke kusu	わけにはいかないので

アイヌ ネ エシネレ ワ エアニ ネンナモラ エランペテカ。」アリ イタカシ アワ
aynu ne e=sinere wa e=an hi nennamora erampetek a.” ari itak=as awa
人間にお前が化けていることをだれがわからないものか。」と言ったところ

カムイ メノコ イポロ カ ウエン ウエン カネ イキ アイネ クリ パン テク ワ イサム
kamuy menoko iporo ka wen wen kane iki ayne kuri pan tek wa isam.
神の女の子が顔色も悪く悪くなっていたあげくパッと姿が消えてしまった。

ヘレバシ インカラアシアワ カイポク カ タ
herepasi inkar=as awa kaypok ka ta
沖の方へ目を向けたところ波の上に

シネ イヌンペイペ ラッチタラ ヘレバシ モム コロ オマン マ イサム。
sine inunpeipe ratcitarara herepasi mom kor oman wa isam.
一つの炬縁魚が静かに沖の方へ流れながらいってしまった。

アイヌ語ラジオ講座収録テープ等貸出しについて

1. 利用時間

(公財) アイヌ文化振興・研究推進機構：午前9時～午後5時（月～金）
アイヌ文化交流センター：午前10時～午後6時

2. 休業日

(公財) アイヌ文化振興・研究推進機構：土・日曜日、祝日、年末・年始（12月29日～1月3日）
アイヌ文化交流センター：月・日曜日、祝日の翌日、年末・年始（12月29日～1月3日）

3. 申込手続から受取

裏面の申込用紙を当公益財団またはアイヌ文化交流センター事務局に提出いただき、手続きが完了しましたら、収録テープ等をお送りします。

また、送料は利用者負担としておりますので、送料分の切手を同封いただくか、または料金着払いにてお送りします。なお、切手を同封される場合には料金を下記までお問い合わせください。

4. 期 間

申込みの日から14日以内に返却してください。

5. お問合せ先

(公財) アイヌ文化振興・研究推進機構

〒060-0001
北海道札幌市中央区北1条西7丁目
プレスト1・7（5階）
TEL. (011) 271-4171 FAX. (011) 271-4181
e-mail : ainu@frpac.or.jp

アイヌ文化交流センター

〒104-0028
東京都中央区八重洲2丁目4番13号
ユニゾ八重洲2丁目ビル（3階）
TEL. (03) 3245-9831 FAX. (03) 3510-2155
e-mail : acc-tokyo@frpac.or.jp

アイヌ語ラジオ講座収録テープ等の貸出申込用紙

*申込番号					申込日	平成	年	月	日				
*返却期日	平成	年	月	日	*返却日	平成	年	月	日				
住所	〒 ー				氏名								
年齢	才	性別	男・女	職業									
連絡先	電話：				FAX：								
	電子メール：												
希望地域	平成10年度	札幌	千歳	平取	旭川	種類	・カセットテープ （平成10～11年度） ・コンパクトディスク（CD） （平成12～28年度） ○で囲んでください。						
	平成11年度	白老	釧路	登別	静内								
	平成12年度	白糠	浦河	鶴川	帯広								
	平成13年度	白老①	白老②	登別①	登別②								
	平成14年度	白糠①	白糠②	鶴川①	鶴川②								
	平成15年度	平取①	平取②	平取③	平取④								
	平成16年度	旭川①	旭川②	旭川③	旭川④								
	平成17年度	静内①	静内②	静内③	静内④								
	平成18年度	様似①	様似②	様似③	様似④								
	平成19年度	平取①	平取②	平取③	平取④								
	平成20年度	旭川①	旭川②	旭川③	旭川④								
	平成21年度	静内①	静内②	静内③	静内④								
	平成22年度	白老①	白老②	白老③	白老④								
	平成23年度	旭川①	旭川②	旭川③	旭川④								
	平成24年度	鶴川①	鶴川②	鶴川③	鶴川④								
	平成25年度	浦河①	浦河②	浦河③	浦河④								
	平成26年度	平取①	平取②	平取③	平取④								
	平成27年度	石狩①	石狩②	石狩③	石狩④								
	平成28年度	十勝①	十勝②	十勝③	十勝④								
	平成29年度	白老①											
	希望教室を○で囲んでください。												
特記事項													

注1 *印の箇所は記入しないでください。 注2 団体による申込みの場合には、代表者の氏名、住所等を記入してください。

リスナーのみなさまへ

「アイヌ語ラジオ講座」をお聴きいただきありがとうございます。

この講座は、初心者向けのアイヌ語やアイヌ文化講座として放送しています。この講座の必要性やあり方などを検討するにあたり、みなさまのご意見、ご感想などをお聞きするものです。下記の質問について、該当の番号を○で囲み、その他のご意見などをご記入の上、お送りください。

のりしろ
(キリトリ)

※キリトリ線を切り取って、封筒にしてご郵送ください。
※封筒を作る際はのりしろをセロハンテープ等でしっかりと貼り合わせてください。

(キリトリ)

アイヌ語ラジオ講座アンケート

(年齢 才 男・女)

I この講座についてお尋ねします。

この講座をなにして知りましたか。

問1 ①ラジオ ②新聞 ③ホームページ ④ポスター・チラシ ⑤アイヌ語教室 ⑥その他 ()

この講座を何回くらい聴いていますか。

問2 ①月に1回 ②月に2~3回 ③毎週 ④その他 ()

この講座をいつ・どのような方法で聴いていますか。

問3 ①日曜日の本放送 ②土曜日の再放送 ③放送を録音して ④ホームページ ⑤貸出しテープ・CD

この講座の放送時間(15分間)について、どう思われますか。

問4 ①もっと短く () 分位 ②このままで良い ③もっと長く () 分位

この講座の内容について、どう思われますか。

問5 ア)「今日の例文」について ①わかり易い ②普通 ③わかりにくい ()

イ)「単語」について

①わかり易い ②普通 ③わかりにくい ()

ウ)「今日の解説」について

①わかり易い ②普通 ③わかりにくい ()

問6 テキストの内容について、どう思われますか。

①もっと易しく ②このままで良い ③もっと詳しく ()

II これからの講座のあり方についてお尋ねします。

この講座をラジオで放送することについて、どう思われますか。

問7 ①続けてほしい ②どちらとも言えない ③やめても良い

現在の内容のほか、どのような話を聴きたいですか。

問8 ①アイヌ語を学ぶきっかけなどの体験談 ②アイヌ文化に関わる体験談 ③地域のアイヌ語・文化に関わる活動の紹介 ④その他 ()

「アイヌ文化の紹介」で取りあげてほしいテーマはありますか。

問9 ①ある a地名 b歴史 c歌・踊り d口承文芸 e儀礼 f工芸 gその他 () ②ない

III その他のご意見があればお聞かせください。

(平成29年7月発行分)

のりしろ

(キリトリ)

※キリトリ線を切り取って、封筒にしてお送りください。

※封筒を作る際はのりしろをセロハンテープ等でしっかりと貼り合わせてください。

(キリトリ)

(キリトリ)

料金受取人払郵便

札幌中央局
承認

2127

差出有効期限
平成30年3月
31日まで
●切手不要

0608788

札幌市中央区北一条西七丁目プレスト1・7 5階

公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構

アイヌ語ラジオ講座担当者 行



(キリトリ)

(キリトリ)

会員募集のお知らせ

『賛助会員』を募集しています。

国及び北海道からの財政的な支援をいただいておりますが、法律の趣旨を踏まえ多様な事業を展開していくために運営基盤の確立が重要であります。

このため、地元北海道はもとより、全国の個人、団体や企業の方々から、幅広くご支援をいただくことが大切であると考えております。

つきましては、このような趣旨をご理解の上、賛助会員としてご入会くださいますようお願い申し上げます。

年会費

■法人・団体／一口2万円

■個人／一口5千円

※各一口以上です。

賛助会費の使途

皆様からの会費は、アイヌ文化に関する書籍、写真、ビデオ等のライブラリーの整備など当公益財団の自主事業の充実のためにあてられます。

会員の特典

会員の皆様には、次のような特典があります。

- ・当公益財団が発行する刊行物等の無料配布

●寄付金税額控除について

当公益財団は、平成25年12月に国から「税額控除に係る証明書」の交付を受けておりますので、所得税を納付している場合、確定申告に必要書類を添付することで、所得税や住民税から一定額が控除されます。

平成29年度「アイヌ語ラジオ講座」テキスト Vol.2

発行年月 平成29年7月

編集・発行 公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構



[公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構とは…]

平成 9 年 5 月、アイヌ文化の振興等を行い、アイヌの人たちの民族としての誇りが尊重される社会の実現と、我が国の文化の多様な発展を図ることを目的とする「アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律」が制定され、同年 7 月から施行されました。

当公益財団は、平成 9 年 7 月、北海道札幌市内に事務所を、同年 9 月には東京都内にアイヌ文化交流センターを開設し、この法律に基づき、アイヌ文化の振興、アイヌの伝統やアイヌ文化に関する知識の普及・啓発などの事業を実施しています。

●公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構

〒060-0001 札幌市中央区北1条西7丁目 プレスト1・7 (5階)
The Foundation for Research and Promotion of Ainu Culture (FRPAC)
Presto 1.7 (5F) .Kita 1, Nishi 7, Chuo-ku, Sapporo 060-0001 Japan
TEL.011-271-4171 FAX.011-271-4181
ホームページ <http://www.frpac.or.jp>
e-mail:ainu@frpac.or.jp

●アイヌ文化交流センター

〒104-0028 東京都中央区八重洲2丁目4番13号
ユニゾ八重洲2丁目ビル(3階)
Ainu Culture Center, Tokyo
UNIZO Yaesu 2-chome Building(3F),4-13,Yaesu 2-chome, Chuo-ku, Tokyo 104-0028 Japan
TEL.03-3245-9831 FAX.03-3510-2155
e-mail:acc-tokyo@frpac.or.jp

